

公開文書

令和 4年 6月 1日 (臨床研究に関する公開情報)
水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了承できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【研究課題名】

腸管壊死が疑われる急性腹症患者の術前壊死診断に関する術前 Dual-Energy CT の診断精度に関する後ろ向きコホート研究

【研究責任者】

水戸医療センター救急科 樋口 遥水

【研究の概要】

腸管が壊死している可能性がある急性腹症の場合、一般的に壊死した腸管を緊急手術で切除する必要があります。この際、手術前の検査でより正確に壊死の有無を診断できることは極めて重要です。本研究は、この壊死の有無を判断する検査として比較的新しいタイプのCT検査である Dual-energy CT の精度を検証する後方視的研究です。2013年 4月 1日から 2022年 3月 31日までに来院された腸管壊死が疑われ緊急手術を行った患者さんのうち Dual-energy CT による術前検査を受けた患者さんについて、CT 検査結果と実施の手術所見での壊死の有無を比較し、Dual-energy CT の診断精度を検証します。本研究では、下記の既存の医療データを利用します。

- ① 患者背景 (年齢、性別、診断名)
- ② 画像所見 (術前 Dual-energy CT 画像)
- ③ 手術所見 (腸管壊死所見の有無<腸管切除施行の有無>)
- ④ 予後 (生死、入院期間、再手術の有無)

これらの医療データは水戸医療センターの本研究に携わる者のみか利用させていただきます。既存の医療データのみを利用した観察研究であるため、研究対象となった方へのリスクもしくは利益は生じません。

本研究は観察研究であり研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施される。

本研究は公衆衛生上重要な研究であり、また研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること (オプトアウト) により実施します。

【個人情報の取扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】 国立病院機構水戸医療センター 救急科 樋口 遥水 電話 029-240-7711
FAX 029-240-7788